





施策マネジメントシート(2020年度の振り返り、総括)

作成日 2021 年 6 月 1 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり	主管課	名称	観光商工課	
				課長	高野明夫	
施策	25	交流連携の推進	関係課			  

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
	①町外の人・団体 ②町民	町に魅力を感じ、相互のまちづくりに協力する。		1 交流連携機会の創出 2 交流連携の強化 3 4	1 町内外の人・団体 2 交流連携している町内外の人・団体	幅広い分野に交流機会を提供する。 交流人口を増やしなが、信頼関係を深化させる。

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提携団体数を増やすことから、交流事業内容の深化へと考え方をシフトし、密な交流が図れるよう検討します。</li> <li>・交流をおこなう双方にとって効果的な交流のあり方を考え、実行に努めます。</li> </ul>
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合	%	実績値	実績なし	54.0	53.7	55.2	49.3	
目標値					25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0
B	友好協定を締結している団体と交流したことの町民の割合	%	実績値	実績なし	5.9	7.8	6.6	8.3		
			目標値		10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0
C	友好協定都市住民でみなかみ町を知っている人の割合	%	実績値	実績なし	-	-	87.5	91.0		
			目標値		65.0	70.0	70.0	75.0	75.0	80.0
D	友好協定都市住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合	%	実績値	実績なし	-	-	69.1	57.0		
			目標値		5.0	10.0	10.0	15.0	15.0	20.0
E			実績値							
			目標値							

指標設定の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、みなかみ町が以下の企業や自治体等と連携協定や、友好都市協定を締結していることを知っていますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、友好都市との交流事業に参加したことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 交流イベントの際にアンケートを実施して把握</p> <p>D) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 交流イベントの際にアンケートを実施して把握</p>
-----------	--

目標値設定の考え方	<p>A) これまでの連携協定・友好都市協定の締結や、交流活動等が今後徐々に町民に知れ渡っていくと推測し、2022年度には2人に1人が認識していると考え、目標値を50%とする。</p> <p>B) 連携協定・友好都市協定の締結が広く知れ渡ることにより、自ら交流しようとする町民が微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が何らかの交流に取り組むと考え、目標値を20%とする。</p> <p>C) 友好協定都市との交流イベントには継続的に取り組んでいることから、友好都市住民には広く認知されていると推測し、2022年度には80%を目標とする。</p> <p>D) 交流イベントに積極的に取り組んでいることにより、本町に訪れようとする町民が今後微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が来訪したことがあると考え、目標値を20%とする。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流事業に積極的に参加し、交流相手に町の魅力等をPRする。</li> <li>・交流事業をきっかけに知り合った相手や団体等との交流を継続させ、参加していく。</li> </ul> <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民及び町内の団体等に対し、交流する機会を提供し、交流事業を支援する。</li> <li>・交流を通じてまちづくりを積極的に行う、または関心を持つ人材を育成し、人的ネットワークを構築する。</li> <li>・交流が継続し、より発展していくよう支援する。</li> </ul>
---------------	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既締結団体等との交流内容がモノの交流からヒトの交流に変化しつつある。具体的にはモノを介した事業者同士のマッチングから派生して人的な交流の輪への広がりを見せている。</li> <li>・海外との交流は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、インバウンドは壊滅的な影響を受けている。</li> <li>・日本国内においても、外出自粛などの影響を受け、交流の機会も失われている。</li> </ul> <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾台南市へは多くの町民が「町民旅行」を利用して訪問し、交流を深めており、今後も継続して交流が図られることが望まれている。</li> <li>・国内の自治体に関しては、観光・物産の交流に留まらず、環境や文化などの分野での交流が望まれている。</li> <li>・議会からも活発な交流を継続して欲しいとの声がある。</li> </ul>
-----------	--

施策	25	交流連携の推進	主管課	名称	観光商工課
				課長	高野明夫

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合は、令和元年度55.2%、令和2年度は49.3%で5.9ポイントの減となった。 ②友好協定を締結している団体と交流したことがある町民の割合は、令和元年度6.6%、令和2年度は8.3%で1.7ポイントの増となった。 ③友好都市の住民でみなかみ町を知っている人の割合は、令和元年度87.5%、令和2年度91.0%で3.5ポイントの増となった。 ④友好都市の住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合は、令和元年度69.1%、令和2年度57.0%で12.1ポイントの減となった。 ※連携協定を締結している団体と協定締結年度 東京芸術大学(平成20年度)、三国コカ・コーポリング株式会社(平成24年度)、オークヴィレッジ株式会社(平成30年度)、株式会社JR東日本企画(令和元年度) ※友好協定を締結している団体と協定締結年度 さいたま市(平成16年度)、取手市(平成21年度)、聯合国際学院(平成22年度)、東京都中野区(平成24年度)、台湾台南市(平成25年度)、中国長榮大学(平成25年度)、麗澤大学(平成27年度)、東京都三宅村(平成28年度)、伊奈町(平成29年度)
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①近隣自治体における企業との連携としては、沼田市がミズノ株式会社と包括連携協定を締結し、スポーツを通じて健康で豊かな生活をおこなうことを目的に「テラス沼田」において、スポーツジムを展開するほか、各種スポーツスクール等を開校している。 ②大学との連携は、川場村が東京農業大学との間で地域活性化と同大学の教育・研究の充実に寄与することを目的に包括連携協定を締結している。 ③近隣市町村における国内交流事業においては、川場村と東京都世田谷区、昭和村と神奈川県横浜市、沼田市と東京都新宿区などの交流が展開されている。 ④みなかみ町は友好都市として国内において、埼玉県さいたま市、茨城県取手市、東京都中野区、埼玉県伊奈町、東京都三宅村の1区2市1町1村、海外に台湾台南市の1市と物産の交流を中心に観光、環境等の分野で活発な交流を図っており、交流の水準は高い。 ⑤群馬県商工会連合会が主体となって台湾・タイをターゲットにした販路拡大のための物産交流調査を継続的に実施している。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合は、目標値40.0%に対し、49.3%で目標値を9.3ポイント上回った。 ②友好協定を締結している団体と交流したことがある町民の割合は、目標値16.0%に対し、8.3%で目標値を7.7ポイント下回った。 ③友好都市住民でみなかみ町を知っている人の割合は、目標値75.0%に対し、91.0%で目標値を16.0ポイント上回った。 ④友好都市住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合は、目標値15.0%に対し、57.0%で目標値を42ポイント上回った。

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1 交流連携機会の創出	A 交流事業の回数	回	実績値	28	46	28	38	6		
				目標値	28	28	28	30	30	30
2 交流連携の強化	A 交流事業への町民の参加者数	人	実績値	160	169	124	189	18		
				目標値	160	160	170	170	180	180
3	A		実績値							
				目標値						
4	A		実績値							
				目標値						

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 交流連携機会の創出	①友好都市や連携企業との交流事業における町民参画の機会提供 ②新型コロナウイルス感染症の蔓延により人的交流が安全に行えない状況である。	①友好都市や連携企業とのイベント開催情報を町民に広報し、交流事業に対し町民の積極的な参加を促す。 ②道の駅のECサイトに友好都市住民が特別価格+特別優待(MINAKAMI HEART payポイント付与)を受けられる特設ページを開設し、コロナ収束後の誘客に向けPRを強化する。
2 交流連携の強化	①企業との連携事業を町民や相手先企業へ啓発する取組 ②新型コロナ収束後、友好都市との交流について物産交流から人的交流への拡大	①連携企業との取り組み内容を広報等の媒体を使って周知する。相手側企業内においても「みなかみ町」を知ってもらう方策、取組について検討いただくよう依頼する。 ②観光・商工分野を中心に友好都市の事業者と町内事業者の事業者交流の場を提供すると共に、各種イベントにおいて、「MINAKAMI HEART pay」の積極的な普及をおこない、町への訪問を促す。
3		
4		

## 25\_交流連携の推進

令和 2 年 8 月 11 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000001	町のうた推進事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	44,000 円				
施策体系	施策	25	交流連携の推進			新町5周年を迎えるに当たり、町民から歌詞を公募し、平成21年10月に町の歌を制作した。この歌は同年、条例で町歌として制定されている。曲名は「ふる里みなかみ」と「心の旅」である。	コロナ禍によるイベント中止の影響でPRイベントも開催していない。	事業実績					
	基本事業	01	交流連携機会の創出					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	PR活動回数			
根拠	無	組織	観光商工	課	交流推進	係	親善大使を使ったPRイベントは費用がかかるという問題がある。解決策の一つとして、別の媒体を利用して、うたを広めていくことが考えられる。	条例で定められた町の歌として活用していく。	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H 21 ~ 年間		会計	1	款	2			項	1	目	7	1

令和 2 年 8 月 11 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000003	地域連携事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	236,000 円				
施策体系	施策	25	交流連携の推進			①舞台芸術によるまちづくり実践事業 ②東日本連携センターイベント使用料 ③北関東・新潟地域連携軸推進協議会への参加	東日本連携センターを活用して町の特産品(さくらんぼ・ブルーベリー・りんごなどの地場産品)と友好都市台南市のマンゴーなどをPR販売した	事業実績					
	基本事業	01	交流連携機会の創出					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	公演支援、イベント開催、研修会、意見交換会			
根拠	無	組織	観光商工	課	交流推進	係	東日本連携フォーラムにて決定された連携都市間との共同事業に積極的に参画することで関係各都市へ向け広く町の情報発信をおこなう。	令和元年度	令和2年度	単位			
事業期間	継続事業 H 1 ~ 年間		会計	1	款	2		項	1	目	8	2	2

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000004	全国源流の郷協議会参画事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,000 円				
施策体系	施策	25	交流連携の推進			源流の持つ豊かな自然環境の保全に務めるとともに、源流資源の役割と機能を広く国民に訴え、国民的な理解を広げる。会員市町村等との交流連携を進め地域振興を図る。 協議会設立日:平成17年11月30日(現在)会員:16市町村、協賛会員1団体	特になし	事業実績					
	基本事業	01	交流連携機会の創出					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	協議会等出席回数			
根拠	無	組織	観光商工	課	観光振興	係	加盟団体は関西から九州まで点在しており、事業実施場所が遠隔地であることが多く、なかなか参加できない。	協議会の各事業へ参画する。	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H 17 ~ 年間		会計	1	款	2			項	1	目	7	2

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000006	利根川源流水源地域ビジョン事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,000,000 円				
施策体系	施策	25	交流連携の推進			ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム管理者と共同で策定する行動計画である。組織として「利根川源流水源地域ビジョン推進協議会」がある。	活動団体・ダム管理者・コンサルタント等との調整業務及び会議への出席。 各種事業への支援。	事業実績					
	基本事業	01	交流連携機会の創出					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	協議会等出席・開催回数			
根拠	無	組織	観光商工	課	観光振興	係	事業を進める上で国に事業予算を確保することが求められている。イベント補助金として助成してもらう方法を協議する。	水源地域の活性化のための新規活動の策定及び現在行われている活動を継続していく。	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H - ~ 年間		会計	1	款	2			項	1	目	7	14-14

## 25\_交流連携の推進

令和 2 年 8 月 11 日作成 (令和 3 年 6 月 22 日更新)

事務事業	000007	高原千葉村施設等活用事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,621,640 円					
施策体系	施策	25	交流連携の推進			施設廃止による地域の防災上・安全安心のため平成31年2月12日本施設の土地・建物譲渡契約を締結し、平成31年4月1日に引き渡しを受けた。	9/19～11/8に調査事業としてキャンプ場をプレオープンさせ、5,564名の利用者があった。	事業実績						
	基本事業	01	交流連携機会の創出					千葉市との協議実施回数						
根拠	無	組織	観光商工	課	商工振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業 H 26 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	8	令和元年度	令和2年度	単位	
施設の適切な保全と民間事業者の創意工夫による施設運営が課題である。						来年度は、春からプレオープンを実施し、6月頃からグランドオープンさせる計画を進めていく。また、低濃度のPCBがあるので、来年度処理していく。						1	4	回

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000008	地域づくり事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,000 円					
施策体系	施策	25	交流連携の推進			賛同、参画するダム関連協議会へ負担金を支払い、協議会に参加することで、交流連携の推進を図る。	特になし	事業実績						
	基本事業	01	交流連携機会の創出					負担金支払い件数						
根拠	無	組織	観光商工	課	観光振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業 H 29 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7	令和元年度	令和2年度	単位	
課題なし						特になし						1	2	件

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000009	全国川サミット連絡協議会参画事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	216,300 円					
施策体系	施策	25	交流連携の推進			利根川源流である本町は水源地として5つのダムを有している。首都圏の水瓶として内外へアピール必要性から協議会へ参加し、利根川や江戸川流域の人と人の繋がりを深める。	特になし	事業実績						
	基本事業	01	交流連携機会の創出					川サミット参加回数・参画団体数						
根拠	無	組織	観光商工	課	観光振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業 H 30 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7	令和元年度	令和2年度	単位	
民間交流を促進する上で、町民の参加をどのように推進するかが課題である。						物産や民間交流の機会を増やしていく。						1・21	1・21	回・団体

令和 2 年 8 月 11 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000010	JICA草の根技術協力事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円					
施策体系	施策	25	交流連携の推進			JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)による「たくみの里」の知見を活かした農村地域の地域資源を活かした新たな観光地づくり。	コロナ禍の影響でプロジェクトの主目的である町と途上国間の人々の往来が困難となったため、苦渋の決断をおこない、事業採択を取り下げた。	事業実績						
	基本事業	01	交流連携機会の創出					現地業務日数・国内業務日数						
根拠	無	組織	観光商工	課	交流推進	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	期間限定 R 1 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7	令和元年度	令和2年度	単位	
途上国の開発課題の解決との両立を目指し、途上国への貢献だけではなく、日本の地域や経済の活性化にも貢献する。						事業廃止						0	0	日

